

＝ 日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2015.2.4 No.182

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

依然として保育園が不足…

保育待機児童保護者の涙の訴え

切実な訴えが今年も行なわれた。



多くのマスコミで報道。テレビ朝日の報道より。



二月二日(月) 待機児童保護者による杉並区役所前行動が行なわれました。今年四月の認可保育園入園を巡る状況は依然として深刻です。1617名(歳児別)の児童が認可保育園に入園出来ないこととなります。一昨年の「保育園ふやし隊@杉並」の行動は保育待機児童問題を社会問題化させました。党区議団は保護者の運動と共同し、認可保育園の大幅増設を求め続けてきました。現在、保育園増設に向けた区の取り組みが始まっています。が、更なる整備が必要です。

認可保育園のさらなる増設を

受け入れ可能数と申請者数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4.5歳	合計
入園可能	531	634	290	224	272	1951
申請者	1023	1295	564	414	143	3439
入園不可	492	661	274	190	0	1488

※小規模保育施設を除く。

歳児別では1617名が入園出来ない状況。

育メン日誌

4年に亘る戦い

保育待機児童問題の解決は私の公約の一つでもあり、今議員任期のなかで最も事態が動いた分野です。当初は誰も取り上げない分野でしたが、4年間の中で一貫して認可保育園の増設を求め、保護者の深刻な実態を議会で告発し続けてきました。同じ子育て世代でもあり保育園入園



を巡る苦しい状況も経験してきました。保護者の願いに寄り添って今議員任期最後の一般質問に臨みます。

涙の訴えを行政・議会は真摯に受け止めるべきです。保護者の願いに寄り添って、待機児童解消に向けて全力を尽くします。

保護者の願いにより沿って

保護者の訴え(一部抜粋)

ある母親の訴えより

夫は非正規雇用で私が正社員。私が働けなければ家庭が回らなくなってしまいます。今回の不承諾によって半年、育休を延長して保育所を探しながら、家で保育をする。これから産まれてくる子どもたちのためにも杉並区役所には、ぜひ、保育所を増やしてもらいたい。二人に一人しか子どもが保育園に入れない状況は絶対おかしい。お願いします。保育所を作ってください。子どもを入れてあげてください。

この問題について
一般質問を予定しています
ぜひ、傍聴にお越しください!
詳細は後日、チラシでお知らせします